

14年度 第13回運営委員会だより

開催日：下記

18：30～ 於保健センター

運営委員：上田、尾内、尾越、垣内、佐々木、澤田(律)、荘所、砂川(延)、須増、瀬尾、瀧原
竹内、西口、野村、平井(正)、本多、待場、三木(悦)、森本、山本(正)、和田、渡邊(俊)

臨時 運営委員会 (6/11)

議案

1. 例会山行を振り返って・・・妙見山(L・垣内)、開聞岳(L・渡邊)、大峰山(L・上田)、氷ノ山(L・砂川延)
各山行のリーダーより山行の感想(良かったこと、悪かったこと、問題点など)が報告された。氷ノ山の下りで転倒事故があったが、軽傷で済んだ。(事故一報は提出済み)
2. 県連盟第51回定期総会について
 - ①総会役員について・・・受付：本多が担当する。総会に出席の代議員は9:30までに会場着とする。
 - ②代議員には交通費&食費の補助として2,500円/1人を支給する事を決定。
3. 創立15周年の取り組みについて(その後の経過など)
 - ①講演予定者の変更になったが、詳細については決っていない事が報告された。
 - ②記念誌に掲載する会員のメッセージは数名残しているがほぼ集まった。
4. 全国遭難対策研究集会への参加の可否(6/27～28 神戸市立神戸セミナーハウス)
クライミングが中心になると思われるが、参加出来るメンバーがいないため、今回は参加を見送る。
5. 第15回定期総会議案について
会計担当より14年度会計報告内容と次年度予算案について説明があり、内容について討議した。
6. 女性委員会担当より、活動の概要報告と今後の計画について説明があった。女性委員会は概ね1回/月のペースで山行計画を入れる方針。今後、女性限定の山行だけでなく、一般募集する山行も計画していると報告された。

第13回 運営委員会 (6/18)

1. 直近の山行について担当リーダーより報告があった。(詳細は省略)
2. 第15回定期総会について
 - ①議案の目次および内容について検討し、多少の変更はあったがほぼ原案(事前にメールで配信済み)通りで承認された。
 - ②当日の議事進行と担当者について確認した。
 - ③会則および各種規定の内容で現状に合っていない部分があるので、改訂すべきとの提案があった。改定案(事前にメールで配信済み)に沿って討議、会則および車両利用規定、山行規定について改訂案をまとめた。
 - ④会則の改廃は総会の決議が必要なため、総会の議案に入れる。各種規定についても改訂案を説明する。
3. その他
 - ①運営委員錬成山行 7月24日～28日を予定通り実施する。参加者は11名。
 - ②全国ハイキング・リーダー学校が9/12～13に計画されている。参加については今後検討する。
 - ③学習会B班のビバーク訓練を8/9～10 善防キャンプ場にて実施する。

行事予定

全国・県連盟の行事その他の取組み

1. 行事日程 常任理事会 6/23(火)、6月25日(木)
2. 全国連盟

14年度 第12回運営委員会だより

開催日：平成27年5月21日(木) 18:30～ 於保健センター
運営委員：上田、尾越、佐々木、澤田(律)、荘所、砂川(延)、瀬尾、竹内、西口、野村、平井(正)、待場、三木(悦)、森本、山本(正)、和田、渡邊(俊)

議案

1. 例会山行を振り返って(4月～5月の山行担当リーダーからの山行結果報告)

- ① 須留ヶ峰(L 佐々木):車3台に分乗。好天に恵まれ頂上の展望が素晴らしかった。山ヒル対策のため3月の山行にしたので、新緑には少し早かった。
- ② 雪彦山(L 竹内):ホテルの里で一泊。翌日くさり場は混雑していたが、好天で山行にはよかった。
- ③ 和気アルプス(L 澤田律):費用や山行後の歩行を考慮して車で実施。好天で問題なく終了した。
- ④ 熊山(L 和田):駅前の駐車場が空いていたのでストレッチを行ったが、苦言を受けた。地元迷惑を掛けない様に留意が必要。
- ⑤ 三嶽・小金ヶ嶽(L 瀬尾):国土地理院の新しい地図では、三嶽となっている(以前は御岳)。クリンソウが良かった。難しく迷いやすいコースで今後気を付けた方がよい。
- ⑥ 六甲・森林植物園(L 野村):ゆっくりしたハイキングで良かった。次回の7月は、六甲高山植物園に行く予定。暑いので状況によってはケーブルカーでの下山も考える。
- ⑦ 御在所岳(L 待場):前日まで好天だったが当日は小雨。目当てのシロヤシオはまだ蕾で寂しかったが、岩のオブジェが良かった。
- ⑧ 国見山(L 尾越):朝雨だったが、現地は曇り。昼食時に昔を思いだしながら抹茶を楽しめた
- ⑨ 日ノ原山・笠杉山(L 上田):途中で雨が止み支障なく山行できた。山頂は気持ちよいコナラの新緑であった。急な勾配に気を付けて下山し、まほろばの湯に入湯後千町小屋に行く。翌日は好天となり笠杉山の山頂で、すがしい新緑を満喫した。播磨地区交流会に29名の参加であった。

2. 県連盟第51回定期総会代議員の選出と理事の推薦について (砂川)

- ① 日程:6月14日(日)9:30受付 葺合文化センター「大ホール」
- ② 代議員:101人以上で5名選出—上田、佐々木、本多、待場、森本
- ③ 現在の常任理事と理事:常任理事:砂川 延也、理事:渡邊 俊明、本多 祐里
- ④ 来期の常任理事と理事:常任理事:砂川 延也、理事:本多 祐里を推薦する。
- ⑤ 総会議案書請求数:運営委員数(22部)要求する。

3. 創立15周年の取り組みについて(5月18日 打合せ報告) (渡邊)

- ① 記念誌:当初の見積もりベースを基に比例配分による費用を算出した。
- ② 記念誌に記載するメッセージを会員に依頼した。(49文字以内で提出期限は5月31日)
- ③ ザック:希望者を対象にサブザック(有償:1,650円程度で、その内650円を会から補助)を作る方向で検討中。
- ④ 高御位山登山地図:先ず基本図を作成(担当:野村)し、作成グループのメンバーで歩いてみる。
- ⑤ 記念講演:宍粟市ガイドクラブ所属 稲葉淳一氏、好日山荘 大道氏で内定している。
- ⑥ その他:沖縄民謡歌手 来生(きすき)亨子さんに三線の演奏を依頼し、承諾されている。

4. 全国遭難対策研究集会 (砂川)

- ① 日程:6月27日(土)12:30～28日(日)12:00、場所:神戸市立神戸セミナーハウス・講堂
- ② 対応:保留とし、次回の運営委員会で決める。

5. その他

- ① ネパール大地震救援募金:1口2,000円、2口以上は税額控除の対象となる。山行残金を積立て募金する。
- ② 第15回定期総会(7月5日):播磨地区の各会長を招待し、来賓挨拶をお願いする。
- ③ 労山 短期掛捨プラン:初めての山歩き教室に掛けている。家を出てから帰宅まで補償し、1泊2日で100円。交通事故の補償も含まれ、車の分乗やみなど観光利用時等気になる場合に加入すると安心である。
- ④ ゆっくりリズム山行:長期間山行に参加困難な人を考慮して、現地解散の計画も検討する。

全国・県連盟の行事その他の取組み

行事日程 常任理事会 5/26(火)、6月9日(火)

14年度 第11回運営委員会だより

開催日：平成27年4月16日(木) 18:30～ 於保健センター
運営委員：上田、尾越、垣内、佐々木、澤田(律)、荘所、砂川(延)、瀬尾、瀧原、竹内、西口、野村、平井(正)、本多、待場、森本、山本(正)、和田、渡邊(俊)

議案

- 例会山行を振り返って(3月以降の山行担当リーダーより山行結果報告がされた)
 - ①七種山(L垣内):実績の時間より少し早く歩けた。山行はスムーズに終わった。
 - ②熊野古道&四国山(L渡邊俊):熊野古道は17kmと距離が長くその上舗装道路だったので、登山靴で歩くのは厳しかった。四国山は低山の尾根歩きで、天候も良かった。移動時、タクシーをよく利用した。
 - ③大山(L竹内):参加者が5名だったため、乗用車2台で行った。交通費は少し高かった。
 - ④笠形山(L垣内):11名が参加。加西市役所もしくは現地集合にしていたが結果は全員現地集合になった。
 - ⑤武庫川・大峰山(L瀧原):天気の前測が難しく、決行を当日6:00に決定した。天気は好転してよかったが、楽しみにしていた桜は終わっていた。
- 創立15周年の取り組みについて(3月30日・月 打合せ報告)・・・(渡邊)
 - ①講演については「穴栗50山」&「山の装備と装備の扱い方」の二つのテーマで話を進めている。
 - ②記念誌(巻頭言集+アルファ)については発行費用および内容について検討中である。
 - ③記念品は労山バッジとする。また、希望者を対象にサブザック(有償:1,500円程度)を作る方向で検討中。
 - ④高御位山地形図作成にあたって担当者会議を5/15(金)に「かこむ」で行なう。
- 第15回定期総会(7月5日)の準備他について
 - ①議案書原稿の作成担当者との作成期限を確認。また、総会当日の議事の進行について話し合った。
 - ②総会后、新年度の体制を決めるため、7/9(木)臨時の運営委員会を開催する。
 - ③8/20(木)の第2回運営委員会が夏山集中日程と一部重複するため、日程を繰り上げて8/17(月)に行う。
- 播磨地区交流山行(5/16~17日)への対応方(砂川)
 - ①千町小屋の受け入れ態勢については事情を良く知っている高御位山遊会が中心になって動く必要があり、16日は15:00までに小屋に入り、夕食の準備など行ないたい。そのためには参加者もある程度確保したいので5月の高御位山例会で追加募集する。
- その他
 - ①みなと観光との「合意書」について(別紙資料で説明)・・・‘14/3月までの金額と比較して同等の金額で行けるところもかなりある。アップする山域もあるので、ケースbyケースで検討し、必要なら見積りを取る。
 - ②次回の山行計画委員会は・・・4/25(土)の土曜トレ後アクア交流館で行う。4/20までに山行先提案のこと。
 - ③15年度初めての山歩き教室初日を終わって(砂川延)・・・本年度受講者は16名(内会員1名)でスタートした。
 - ④5月9日(土)土曜トレの扱い方・・・初めての山歩き教室(実技)&御在所岳山行と重なるが予定通り実施する。
 - ⑤会計担当報告(上田)・・・年度末(5月)を控え、会費の納付は順調で、滞納繰り越しは無い予定と報告された。
 - ⑥「初級ロッククライミングスクール2015」を終了して(佐々木)
クライミングスクールに参加したが、若い参加者が多く、体力的に厳しかったが、楽しめたと報告された。
 - ⑦山行中止や乗用車利用で会費徴収なし(例:現地集合)の事務費については1,000円/件を基準金額として会の会計に請求する事にした。また費用が1,000円を超える場合は実費請求で良い。(何れも要請求書)
 - ⑧県連事務所に会任務の一環として出掛けた場合の交通費は実費請求を会会計にする。
 - ⑨「兵庫労山登山学校 2015 夏」に尾越、竹内の2名が参加する。また、この登山学校に本多がコーチとして参加する。
 - ⑩山行日程変更・・・6/6(土)六甲/弓削牧場⇒6/21(日)に日程を変更する。 L:尾越

全国・県連盟の行事その他の取り組み

行事日程 常任理事会 5/12、5/26 ※総会議案書の討議状況により5/23を追加する。
兵庫県勤労者山岳連盟第52回定期総会 6月14日(日) 葦合文化センター 大ホール

14年度 第10回運営委員会だより

開催日：平成27年3月19日(木) 18:30～ 於保健センター
運営委員：上田、尾越、垣内、佐々木、澤田(律)、荘所、砂川(延)、須増、瀬尾、瀧原、竹内、西口、野村、待場、三木(悦)、森本、山本(正)、和田、渡邊(俊)

議案

1. 創立15周年の取り組みについて(高御位山地形図作成にあたって担当区域別け方と担当者)
 - ①高御位山地形図作成を具体化するため、実行委員会を発足する。ある程度計画がまとまり、実地調査(コース毎の歩行時間や距離、コースの状況調査等)をする時は会員に協力を要請する。
選出した実行委員：尾越、澤田(律)、砂川(延)、野村、三木(悦)、和田
 - ②記念品としてサブザックの希望もあるため、サブザックの見積りを依頼している。
2. 山行計画委員会関連・夏山集中計画の担当リーダーの決定(詳細は山行案内参照)

	日程	コース	L	SL
①	2泊3日	焼岳	砂川(延)	荘所
②	3泊4日	奥穂高岳	山本(正)	澤田(律)
③	3泊4日	槍ヶ岳	野村	上田
④	夜行+3泊4日	常念岳～蝶ヶ岳	須増	佐々木
⑤	夜行+3泊4日	裏銀座(テント縦走)	尾越	竹内
⑥	4泊5日	雲の平(折立～新穂高)	瀬尾	和田

3. 夏山集中日の佳留萱山荘事務局担当
8/23佳留萱山荘集中で行なう懇親会の事務局として上田、森本を選出した。
4. 15年度初めての山歩き教室取り組みの現状
新聞4社の姫路支局に「初めての山歩き教室」の募集記事の掲載依頼をしているが、3/19現在読売新聞社のみ掲載してくれた。結果4名の応募を受け付けている。他の新聞社の掲載結果待ち。
5. 会報郵送料の値上げについて
会報送付用として利用してきたクロネコヤマトのメール便が廃止された。新たにDMメールがスタートしたが、送料が164円/A4サイズと高くなる。郵送の場合は180円のため、今後もクロネコヤマト便を利用する。
6. その他
 - ①会員よりパソコン教室の希望があると報告があった。過去に会報の編集委員教育用として行った事はあるが、会員向けのパソコン教育としてはしていない。パソコンを始める場合、初めに基礎的なことを専門家に学ぶのが一番良いので、町のパソコン教室で習得する方向でお願いします。
 - ②神大、千本杉ヒュッテ 5月30日(土)は小屋メンテのため使用不可の連絡あり。
日程変更、宿泊先変更、もしくは日帰り山行にするか対応策を検討する。現状では予定変更しない。
 - ③総会の議案書作成について
総会の議事進行方法と議案書作成担当者を決めた。また、時間短縮のため、説明を簡素化する。
 - ④4/5(日)例会後の花見会関連
会場の場所取り(担当：荘所)、会計(尾越、澤田(律))、会費集金(西口)を決定。買物担当は当日決定する。
 - ⑤5/10(日)加古川防災センターで行なう「救命救急講習会」の受講希望者募集は4/5高御位山例会で募集を開始し、4/20締め切りとする。

全国・県連盟の行事その他の取り組み

1. 行事日程 常任理事会 3月24日(火)

14年度 第9回運営委員会だより

開催日：平成27年2月12日(木) 18:30～ 於保健センター
運営委員：上田、尾内、尾越、垣内、佐々木、澤田(律)、荘所、砂川(延)、須増、瀬尾、瀧原、西口、野村、本多、待場、三木(悦)、森本、山本(正)、和田、渡邊(俊)

議案

- (1) 創立15周年の取り組みについて(記念講演の依頼先を2つに絞って進めている)
 - ① 宍粟50山をテーマにした講演を依頼し、了承を得ている。
 - ② 好日山荘には山の道具に関する講演を依頼し、こちらも了承を得ている。今後、総会の講演を1つに絞った場合、好日山荘の講演は高御位山例会でお願いする事も検討する。
 - ③ 記念品として名札を作る話が出ていたが、労山のバッジはどうかとの提案があった。記念品については今後記念行事検討委員会で行なう。
- (2) 山行計画委員会関連・夏山集中計画の立案について
夏山の集中登山の日程は8/23(日)or24(月)集中で決まっているが、行き先について未定のため、早急に具体化の必要があり、3/1清掃登山の後、山行計画委員会を開催し、山域やルート決める事にした。運営委員はそれまでに候補の山域やルートの検討をしておく。(コース数は5～6コースが目標)
- (3) 山域研究会一通り終わって出てきた問題点について
山域グループの活動状況について現状報告された。活動の進め方について模索中の段階である。
- (4) 15年度初めての山歩き教室取り組みの現状
新聞各社(4社)および他1件に掲載依頼済みも、掲載期日などは未定。
- (5) 清掃登山のパーティー編成とコースについて(清掃登山中に他の登山者の迷惑にならないようマナーを守る)
当面、東と西コースを各2班(ロングとショート)に分け4班編成とし、人数を分散させる。編成はストレッチ後。
- (6) 総会に向けて
 - ① 会則、山行規定、自家用車運用規定など会則、規定類の不備について見直し。
規則や規定で現実にそぐわない部分の見直しを今後検討することになった。
 - ② 総会用議案書作成スケジュールの決定(事務局よりスケジュール案を提案)
事務局提案のスケジュールで了承された。
- (7) 4月の高御位山例会について(当日、研修棟は盆栽関連の行事のため午前中は利用出来ない)
9:00より清掃登山を先に実施し、13:00より高御位山例会を行なう。その後、14:00から花見会をする。
- (8) 播磨地区「山での応急手当」講習会当日の対策
参加予定者にはメールで注意事項など配信済み。
- (9) その他
 - ① 2/15(日)～2/16(月)に行なわれる日本勤労者山岳連盟の第31期第1回評議会資料が届いている。
運営委員にはメールで配信するので目を通しておこう砂川会長より要請された。
 - ② 高御位山例会後の研修棟使用(ミーティング他)について
研修棟利用の機会が増えてきたため、ミーティングなど開催した場合、開催責任者が最後に戸締りの手続きをして帰ることに決定。

全国・県連盟の行事その他の取組み

1. 行事日程 常任理事会 2月24日(火)
2. 全国連盟 第31期第1回評議会 2月15日～16日 (東京・晴海グランドホテル)

14年度 第8回運営委員会だより

開催日：平成27年1月15日(木) 18:30～ 於保健センター
運営委員：上田、尾内、尾越、垣内、佐々木、澤田(律)、荘所、砂川(延)、瀬尾、竹内、野村
平井(正)、本多、待場、三木(悦)、森本、和田、渡邊(俊)

議案

- (1) 創立15周年の取り組みについて(渡邊)
 - ①日程と会場について
10/12(月・祝)に保健センターの中ホールを予約済み(9:00～17:00)を報告。
 - ②次回実行委員会に向けて
実行委員会は1/23(金) 18:30から「かこむ」で行なう。
- (2) 山行計画委員会の結果について(尾越)
 - ①1/11(日)高御位山例会の後、山行計画委員会を行い4月～6月の山行先とリーダーを決めた。山行先の詳細については会報の行事予定参照。
 - ②2/13(金)に予定していた六甲・百間滝山行は登山道が崩壊していて復旧の目途が立ってないため、中止となった。
- (3) セカンドステップ講座について(和田)
セカンドステップの講座は予定通り、1/20(火)より、受講者11名でスタートする。
- (4) アルプGミーティング結果について(竹内)
アルプグループ参加希望者が2名あった。入会条件を満たしており、受け付けた。今後1年間アルプのトレーニングに参加してもらう。また、セカンドステップの講座も受講してもらう。
- (5) 海外トレ・ミーティング結果について(瀬尾)
6/8(月)～6/16(火)の海外トレッキング(アメリカグランドサークル)参加者は11名で決定。参加申し込み手続きを完了した。
- (6) その他
 - ①昨年計画していた運営委員錬成山行が天候不良で中止になったため、今年、同じコースで実施する事にした。日程は7/24(金)～7/28(火)で進める。
 - ②今年の夏山は基本的にはアルプス方面への集中山行とし、8/22(土)or23(日)に何処かの宿に集中する事になった。一方、都合により、集中山行の日程に参加出来ない人もあると思われるので、可能なら8月上旬と8月中旬にそれぞれ一山行を計画する事になった。(この場合、参加出来るリーダーがいる事が必須条件となる)。
 - ③今年の山歩き教室の日程が提案され、計画通りで承認された。4/9(木)からスタートし、7/18(土)～7/19(日)に終了山行・三ノ峰、8/2反省会の計画で実施する。開催場所は姫路市飾磨分館
 - ④今年の総会は7/5(日)の高御位山例会の日に市の池の研修棟で例会と同時開催で予定する。
 - ⑤2/14(土)の山での応急手当講習の参加者は24名であった。2月の高御位山例会で追加募集する。
 - ⑥新特別基金の改定内容の確認……内容の把握を行なうため担当者会議をする。
 - ⑦播磨地区交流山行を5/16(土)～5/17(日)千町小屋(泊)で実施する。

全国・県連盟の行事その他の取り組み

1. 行事日程 常任理事会 1/27(火)

14年度 第7回運営委員会だより

開催日：平成26年12月12日(金) 18:30～ 於中央公民館
運営委員：上田、尾内、尾越、垣内、佐々木、澤田(律)、砂川(延)、西口、野村、平井(正)、本多、待場、三木(悦)、森本、山本(正)、和田、渡邊(俊)

議案

(1) 納山会の取り組みと体制について (上田)

- ① 当日の宴会での座席位置や部屋割りは事務局で用意した抽選を引いて決める。
- ② 夜の懇親会では貝塚(文)さんの太鼓、舛賀さんの詩吟と民謡、田羅間(勤)さんの尺八など演奏や唄が予定されている。

(2) 創立15周年の取り組み内容について

- ① 日程と会場の設定について
当初、9月6日(日)か10月11日(日)を予定していたが、会場の予約が出来なかったため、10月12日(月)／祝日に変更した。(会場は予約済み)
- ② 次回実行委員会は1月23日(金)「かこむ」で行なう。

(3) セカンドステップ講座申し込み結果について(和田)

セカンドステップ講座の受講者を募集していたが、12/12現在で参加希望者は4名と少なく低調である。募集期限の12/15(月)まで待って、準備に入る。

(4) 山城研究会の取り組みと今後の扱い方 (和田)

- ① 山城研究グループ参加者を追加募集した結果、参加者が増え、延べ67名となった。(複数のグループに参画する人あり)
- ② グループごとに活動をスタートする事になった。活動を始めるに当たり、進め方がよく分からないとの意見も出たが、手法については具体的に決めていないので、各グループの世話人の考えで進めてもらう事にした。

(5) アルプGの取り組みと今後について

- ① アルプと言う組織は数年前から存在していたが、活動が地味だったこともあって、会員の中では活動の主旨をよく知らない人もあると言うことで、12月会報にアルプグループ報告として「アルプの目標と参加条件」を掲載した。
- ② 上記「アルプの目標と参加条件」について追加する内容もしくは訂正すべきところはないか意見を求められたが、特に異論は出なかった。

その他

- ① 山行計画会議を1/11(日)高御位山例会の日の13:00より研修棟で行なう。運営委員は12月26日(土)までに担当の尾越まで山行先の提案を提出する。
- ② この1年を振り返って(参考用に一部記載します)
出席している運営委員より、今年1年間を振り返っての感想を発表してもらった。(参考用に一部記載します)

- ・ 山行数を増やした事で、山行当りの参加者数が少なくなっているため、アクセスとしてバスを利用する頻度が少なくなり、乗用車の利用が増えることも考えられるので、今後、乗用車の登録を増やす事も必要。
- ・ 山行参加者の顔ぶれが固定化している感じがする。また、在籍年数の長い会員や男性の参加者数が少ないのも最近の特徴である。
- ・ H26年は悪天候で中止になった山行が多かった為、残念な気持ちが残っていると言う意見も数件あった。

全国・県連盟の行事その他の取組み

1. 行事日程 常任理事会 (未定)

アルプの目標と参加条件

担当：竹内

1. アルプの目標

- (1) 剣岳、穂高等の岩稜帯（岩場、雪渓）の縦走を主目的とする本格的な山岳での登山を目指す。
- (2) その目的を達成するために「岩登りの技術」「ロープワーク」「氷雪での技術」等に対応した技術の習得を目指す。

2. 高御位アルプグループへの参加条件

- (1) より高みを目指して学習会A班並びにリーダー養成講座に参加して、地形図が読める、概念図が書ける、天気図が書けて読める、山域の研究など基本的な学習を行う。

※1月20日より開催のH26年度ハイキングセカンドステップ講座（次頁参照）

- (2) 厳しい山行を行うためお互い山仲間としてパーティーシップ、絆が取れる
- (3) アルプ独自開催のトレーニングに参加できる。
- (4) 初級ロッククライミングスクールを受講

3. 来春の春山（5月時点）、夏山を目標として具体的に山名を設定して、その山を目指した学習とトレーニングの計画を立案する。

※氷ノ山、三室山等、近場での雪山トレーニングも一環として計画に入れる

4. アルプ・グループ・メンバーの山行計画への参加の可否は、アルプトレーニングでの実績評価をメンバー間で協議の上で参加の可否を決める。
5. 入会希望者は担当迄ご連絡ください。

14年度 第6回運営委員会だより

開催日:平成26年11月20日(木) 18:30～ 於・福祉保健センター
運営委員:上田、尾内、尾越、垣内、佐々木、澤田(律)、荘所、砂川(延)、須増、瀬尾、西口、野村
平井、本多、待場、森本、山本(正)、和田、渡邊(俊)

議案

(1) 納山会の山行と取り組みの体制

- ① 山の歌の歌集を作成し懇親会で唱和する。催し物は3名を想定。懇親会終了後、自由参加のカラオケに移る。
- ② 部屋割り・懇親会の席順は、事務局でクジを作成し決める。会費は、13,000円とする。
- ③ バス2台の乗車場所は、山電高砂駅(AM8:00)、JR宝殿駅、加古川市役所、播磨中央公園とする。
- ④ 翌日は、市内自由散策とし、各自で昼食後出発する。

(2) 創立15周年実行委員会の報告について

- ① 9月6日又は10月4日に福祉保健センター中ホールで開催を計画中である。記念講演を検討中。
- ② 巻頭言集を出版する。記念品として高御位山遊会のワッペン・サブザックを検討中である。
- ③ 記念行事の一環として桶居山を含めた高御位山登山地図を製作することも検討したい。その場合、実地調査が必要であり、調査グループの編成も必要になるとの提案もあった。

(3) 県連盟「ヤングメンバーズ」への委託委員派遣要請について

新たに新規メンバーとして派遣してはと具体的に指名しての提案があったが、入会したばかりの会員なので、当面は見送ってほしいとの意見があり派遣しないとの結論になった。

(4) 会・車両運用規定の再確認について

現行の車両利用規定では、第4条(費用)で車両を使用した場合、ガソリン代・有料道路代・駐車料代の実費と車両使用料(走行距離1Km 当り10円)を同乗者で均等に分担することになっている。運転手が替わっても車両使用料は、車の提供者に支給する。参考:現在の山行登録車両は27台と報告された。

(5) アルプGの取り組みについて・・・参加要件について、再確認する。

「アルプの目標と参加条件」を12月の会報に記載する。

(6) 学習会A打合せ内容について(和田)

山域研究会の取り組みと今後の扱い方

- ① 山域別のまとめ役(世話人)を決定した。12月の例会で山域別希望者を再募集する。
- ② 山域別にルート・アピールポイント・地形図・概略図等を研究し、山行計画委員会に提案する。
リーダー・サブリーダー養成講座を「ハイキングセカンドステップ講座」に改称する。
新規カリキュラム(2015年1月～7月)を12月の会報に記載し、グループへの参加者を追加募集する。

(7) 第49回六甲全山縦走の西コース・アンカー担当者を須増、竹内に決定した。

その他

- ① 会員名簿の配布:12月の例会で配布する。
(氏名・住所・郵便番号・メールアドレス・電話番号・ファックス番号)
- ② 次回の運営委員会は、編集委員会の繰り上げにより12月12日(金)に変更する。
- ③ 納山会参加者は、12月14日の総選挙の期日前投票に行くように要請する。
- ④ 2/7(土)淡路・諭鶴羽山のSL須増:3/23～24(月、火)高森山・四国山のSL荘所に決定する。
- ⑤ 次回の山行計画委員会は、1月11日例会後13:30より開催する。

全国・県連盟の行事その他の取組み

1. 行事日程
常任理事会 12月9日(火)
第3回理事会 12月4日(木) 19:00から 神戸勤労会館308号